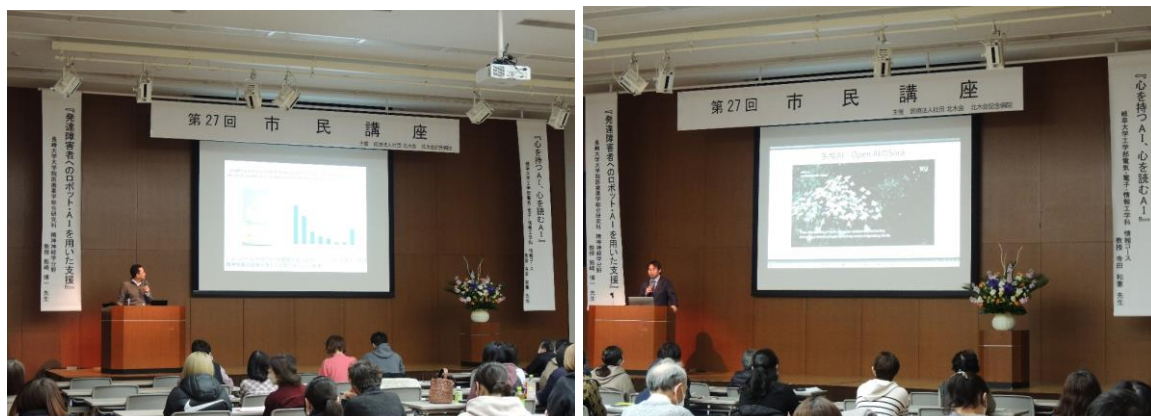


## 第27回 北水会記念病院 市民講座レポート

多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

当日の様様を報告いたします。

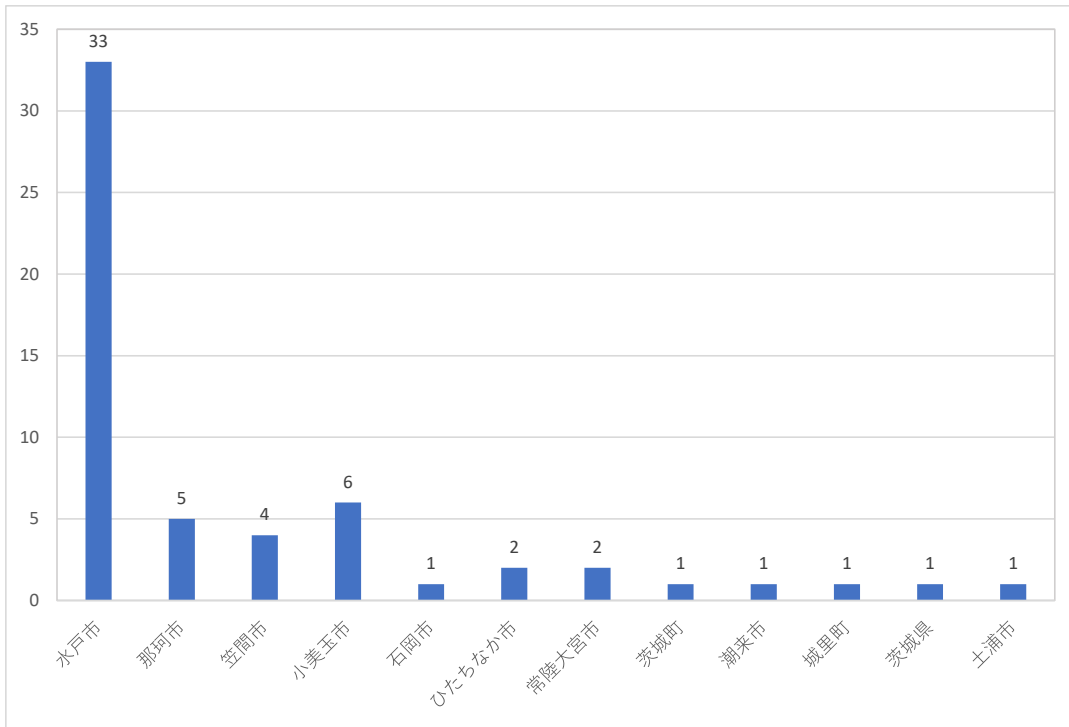


講演①	テーマ 発達障害と教育におけるテクノロジーを用いた支援の現状 講師 北水会記念病院 児童精神科 医師 熊崎 博一 岐阜大学工学部 教授 寺田 和憲
開催日時	2024年 2月17日（土） 13：30～14：45
会場	水戸メディカルカレッジ 3階講堂
申込者数	95名
参加者数	65名

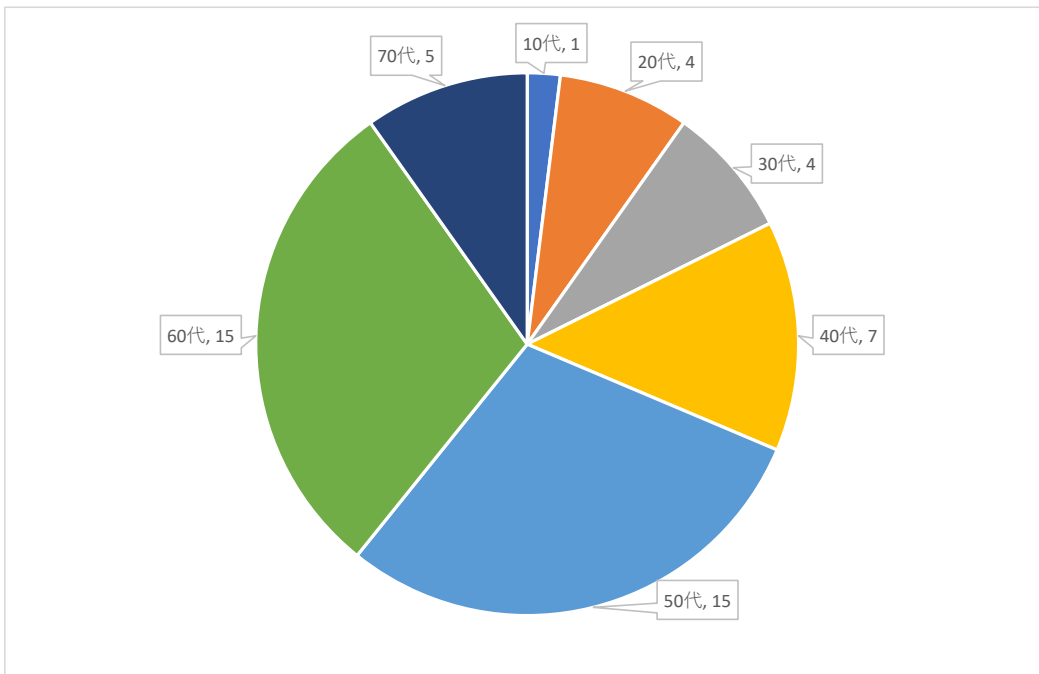
# アンケート結果報告

アンケート回答件数 57件

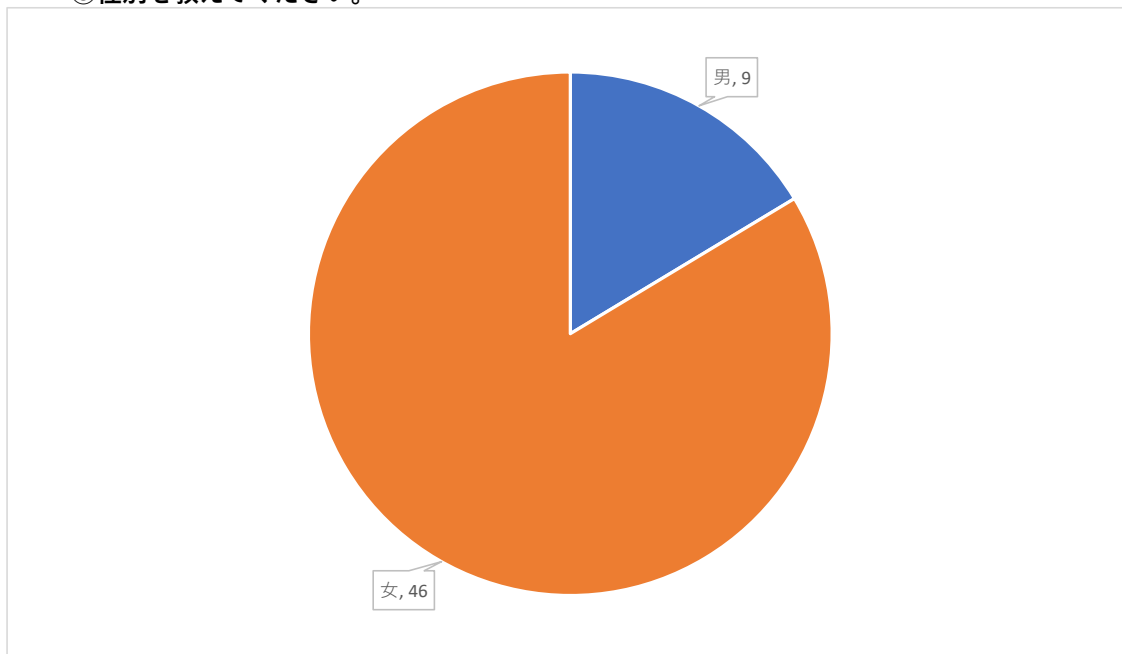
## ①お住いの地域を教えてください



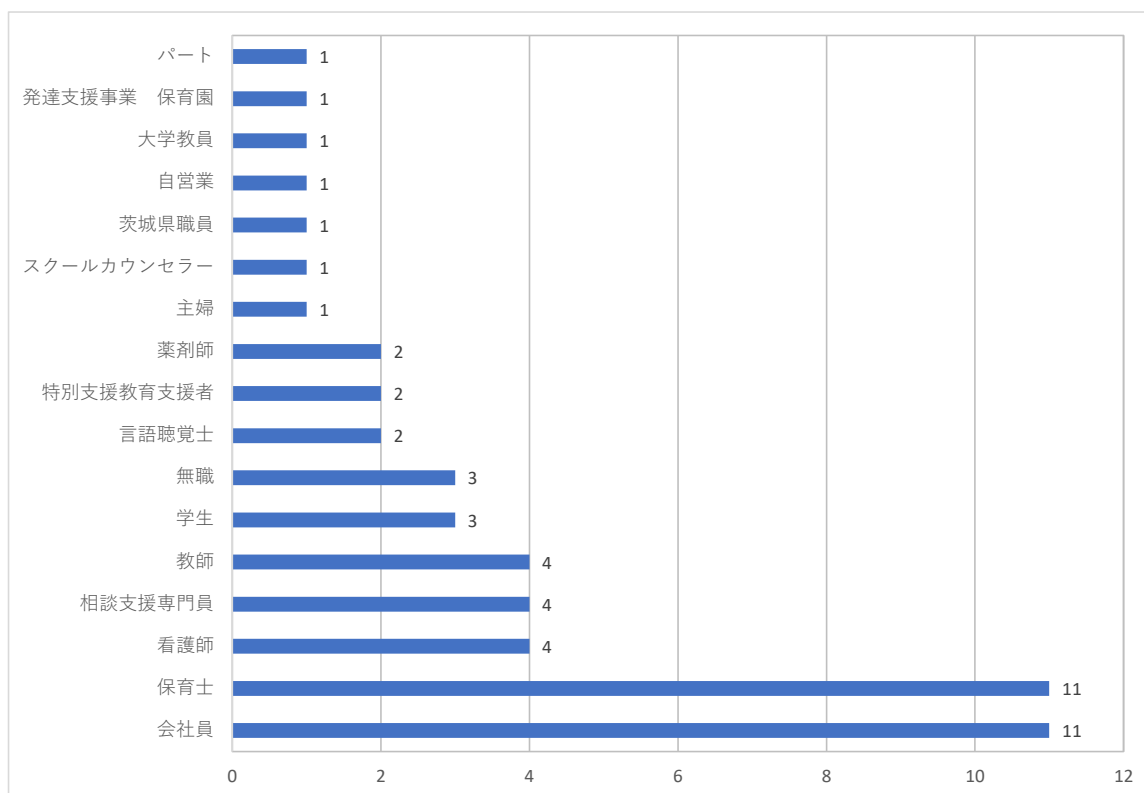
## ②よろしければ年齢を教えてください。



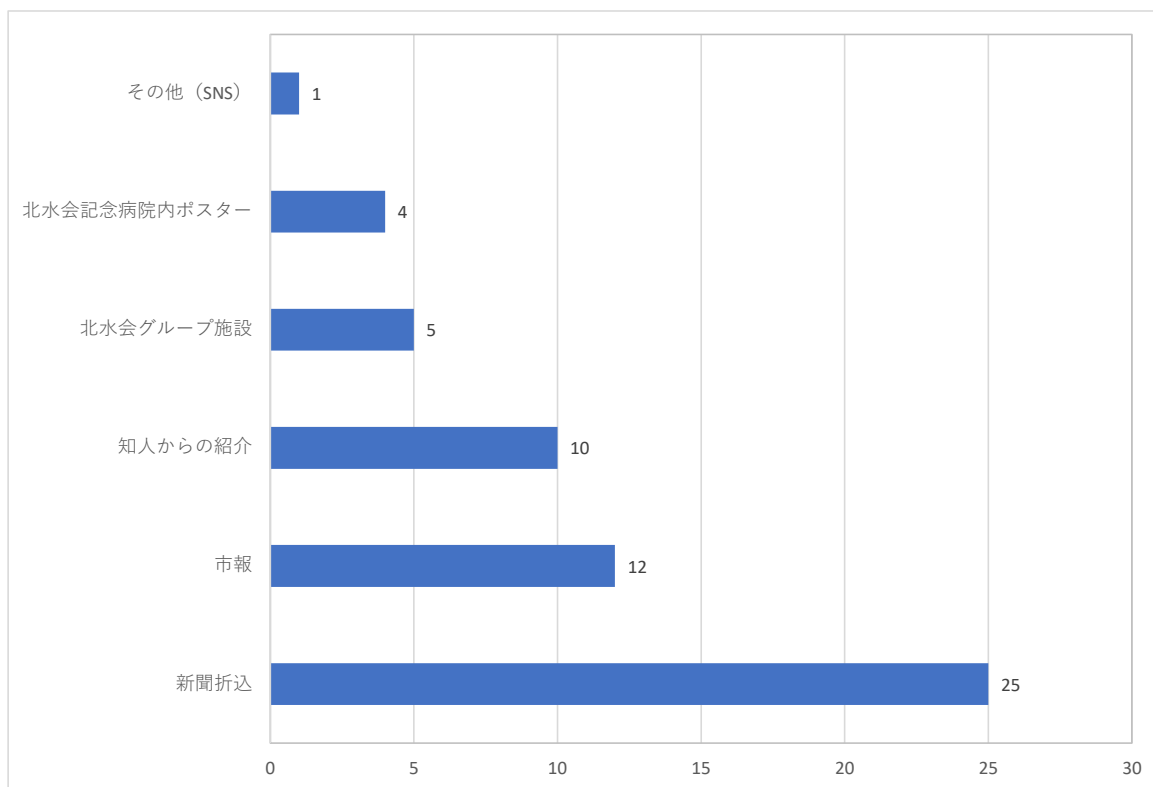
③性別を教えてください。



④ご職業を教えてください



### ⑤本日の市民講座は何を見てお知りになりましたか？

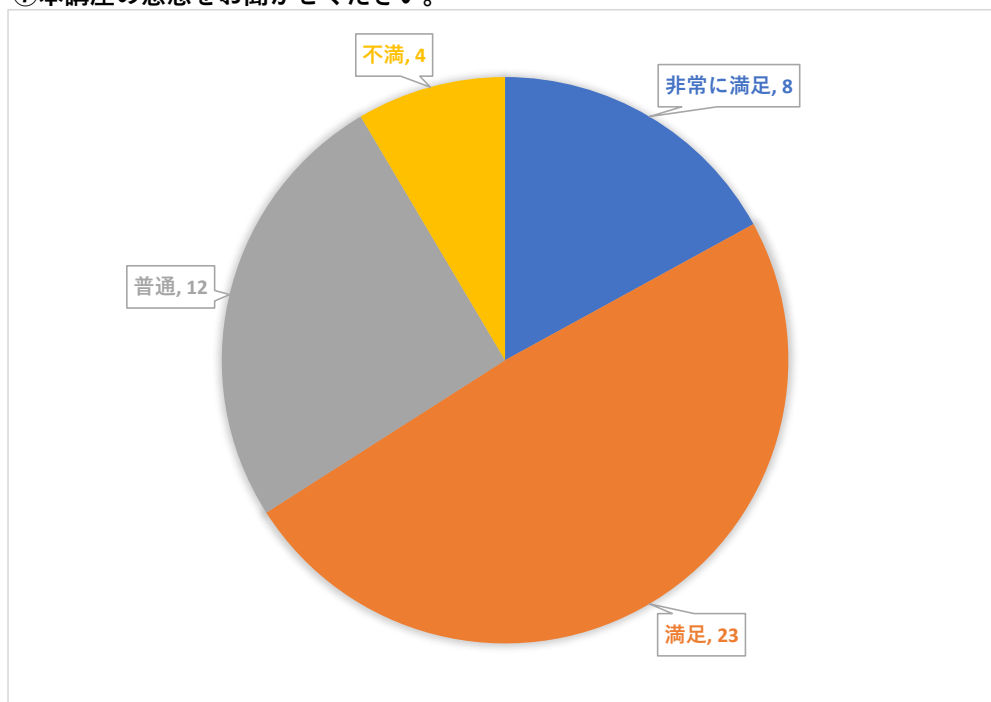


### ⑥本講座に参加された動機をお聞かせください。

- ・息子が発達障害で熊崎先生にお世話になっているということがきっかけで、研究の内容に興味があったため。
- ・職場（保育所）で気になるお子さんがおり、少しでも何か良い方向へ持っていけるかと日々思っていた時にチラシを見た。
- ・職場の幼稚園でもLOVOTというロボットを導入しました。子供たちの”愛を育む”という点でとてもいい影響が出ているので、今回の講座に参加しました。
- ・AIやロボットなどが子どもたちに果たす役割などが知りたかったです。
- ・発達障害者を支援していますが、その支援のヒントがあればと思いました。
- ・グレーゾーンで情報科学を専攻中の親族がいるため
- ・孫がADHDらしく、特別学級に入っているため、先生のお話を聞きたく参加しました。
- ・子育てで悩んでいたから
- ・現場で発達障害児に関わる事があり、「人と人との関係」ではなく、「人とロボット？AI?」と全く想像できない関係性に興味があり、参加してみた。
- ・熊崎Drの講演を以前に拝見し、業務に活かせると考えていたため。
- ・発達障害児童への対応の参考期待
- ・特別支援担任20年経験、茨大工学部金属科卒コンピュータに興味があり、研究のため
- ・AIに興味があり、活用法を知りたかったから

他

⑦本講座の感想をお聞かせください。



⑧上記の理由をお聞かせください。

- ・自身が大学在籍時代の専攻分野にも近く、非常に興味深い内容であった。
- ・診断が重要ではなく、子どもが将来一人で生きていけるかが重要。本当にその通りだと思いました。
- ・ASDが昔に比べてとても多く、激増していること。今まさにその現場にいて納得しました。
- ・もう少しAIやロボットを用いた支援について聞きたかったです。
- ・AIを用いた支援の話をも具体的に聞きたかった。心というものは何かということ多次元の図で表現された物が興味深かった。
- ・これまで視点になかったアプローチ方法や、考え方の幅が広がるのではと思いました。
- ・AIと医療が密接であることに驚きました。
- ・北水会記念病院で5歳児専門外来があることを初めて知った。5歳児健診の心理職として関わっているので、さらに詳しい長崎の取り組みを知りたかった。
- ・初めて聞く内容で私には少し難しかったが、さらに興味がわいた。もっと続きを聞きたい。
- ・AIの現状とAIを使用する未来が少しわかったと思う。
- ・説明が難しい箇所があった
- ・最近よく耳にするchat GDP等についても分かりやすかった。これからの色々な場面で活用されていくものに対して、色々勉強していかないといけないと思った。
- ・心というものが客観的に分かった。診断が全てではないというメッセージは肝に命じたいと思います。
- ・内容が専門性が高かったので、もう少し実生活に関係する支援や今後につながるわかりやすかったら、もっと良かったと思いました。
- ・児童精神医学について知ることができた。(製薬開発→アプリ開発) デジタル診療への移行。次元という考え方をとり入れること、次元が大きくなると、心=AIを知ることができた。

⑨今後聞きたいテーマなどございましたらお聞かせください。

- ・具体的なりハビリ、治療法の最前線が知れると嬉しい
- ・もう少し詳しく聞きたいです。
- ・実際の事例の話などから、発達障害者をどう理解していったら良いか
- ・児童精神学について、言葉の発達について
- ・熊崎先生が関わっている長崎での5歳児健診の具体的な様子を知りたい。また健診を実施した上での効果、アセスメント方法を教えてください。
- ・AIを使って実際に行っている映像
- ・また発達障害等についてのお話が聞きたいと思いました。
- ・二次障害での薬物療法とAI療法の関係性について（高校生～成人）、2人の先生方のディスカッション式の講演をお願いします。
- ・ASDの児童の早期支援は継続的にテーマにして頂きたい。
- ・自閉症や発達障害者への対応のとりかた（自立できるようにするには）
- ・哲学、食物の話、学術分野全般
- ・AI実体験をする！！AIロボットを用意し、参加の人の今の気持ちを読む…という実体験をしたい！！

など

⑩その他お気づきの点がございましたらご記入ください。

- ・本日は貴重なお話しありがとうございました。
- ・あっという間の時間でした。職場の園児のことを考えながら聞くことができました。ありがとうございました。
- ・これからAI、ロボットが支援していく時代がくるのかなと思いました。最後の熊崎先生のお話が良かったです。
- ・内容についての資料が欲しいです。
- ・お話が少し難しすぎた。自分にとっては現実的ではなかった。
- ・診断の方向性が直結しない物に対して診断の意味がないという熊崎先生のお話し、すっきりしました。今後は是非また講演をお伺いしたいです。
- ・熊崎先生のお話、もっとお聞きしたかったです。
- ・発達障害者へのロボット、AIを用いた支援の熊崎先生のお話は、非常に興味深いものでしたが、医師側からみたAIを使うことのメリットの話だったように感じたので、まだ色々なことが実験段階だとは思いますが、もっと実験が進み、子ども側から見たメリットがもっと聞けるといいと思いました。
- ・とてもきれいな建物で受講でき、よかったです。ありがとうございました。又、開催される時は、新聞広告、ちらし配布をお願いします。
- ・最後熊崎先生が言っていたこと、まさに今私が悩んでいることだったので、今後のAIなどの発達、発達障害がある子供が生きやすい助けになっていってくれることを望んでいます。
- ・専門的な分野の内容を分かり易く話して下さい、とても勉強になりました。要は子どもたちがどう対応、教育を工夫すればよいのか、将来を見すえた教育の大切さを考えさせられました。
- ・相性の問題は、現場でもおこりうることであり、これまで多くの人から多角的な視点での見方から、1つに絞り込むを実施してきたが、AI活用によって子どものパフォーマンス低下することなく実態把握がわかる。と感じた。現場でも導入したい。
- ・AIを使って相手の気持ちを理解することができるようになるトレーニングができれば（病院で）よいなあと思いました。
- ・今後はAIの時代と知ってはいたが、一般生活にはあまりピンとしないので、年寄りでもAIとうまく付き合える世の中になるといいな～と思う！！発達障害心の病の子供のかかわり方の話をたくさん聞きたいです。暴れた時は、どう対応したら良いか…等（暴言の対応）。